

宮城教育大学対話（2020/08/11）アンケートまとめ

アンケート取りまとめ SNW 東北 高橋寛

1. 参加学生概要（22名）

- (1) 学年 2年生 11名、3年生 8名、4年生 3名
- (2) 初等教育教員養成課程 国語コース 1名、数学コース 3名、理科コース 7名、
情報ものづくりコース 2名
中等教育教員養成課程 理科教育専攻 5名、美術教育専攻 3名、家庭科専攻
1名
- (3) 希望進路（就職と進学両方に記載の人がいるので総数は合わない。）
就職（教員）20名、進学（美術系大学院 1名、理系大学院 5名）

2. 回答内容（2つ以上選択している場合、選択していない場合があり、必ずしも総数に一致しない。）

(1) 講義の内容は満足のいくものでしたか

- ・とても満足 11名
- ・ある程度満足 8名
- ・やや不満 2名
- ・おおいに不満 0名

理由

- ・トラブルはあったが、討論会の内容は沢山の知識を得られるものになっており、とても勉強になった。
- ・私は文系で、福田先生の講義によって原子力や放射性廃棄物について学んではいたが、知識をうまく整理できていなかったもので、とても分かりやすく理解できた。
- ・エネルギー問題や、なぜ原子力の再稼働が求められているかわかった。
- ・現在、電気エネルギーの多くを火力に頼っている日本において、これからのエネルギー政策や廃棄物問題を考えたり客観的情報を見るために有用。
- ・専門家の意見が聞ける機会はとても貴重だと感じた。
- ・ある程度まで事前に授業の講義で知っていたものだが、専門的な部分に踏み込み、知らない事も多く知ることができた。
- ・時間をもっとあるとより良かった。
- ・内容が分かりきっていた。
- ・なじみのない分野であったが、丁寧に説明して下さり、しっかり理解できた。
- ・対話会の前提知識となる部分や、これまでの講義内容を確認することができた。
- ・原子力を復活させようという理由がいろいろわかった（日本の需要や自給率といった

観点から)

- ・自分自身、様々な講義で原子力エネルギーについて学習してきたが、今回の活動では、更に今まで知らなかった内容も多く学ぶことができた。
- ・専門的すぎて難しいと感じた。
- ・基調講演では、エネルギー問題、原発について等興味深い内容が多く、そこから更に討論会で内容が深まった。
- ・原子力の分野に興味はあったが、難しいと思い少し避けていた。しかし、資料に図や表があったため、内容が理解しやすかった。
- ・専門的な知識を聞くことができ、また今まで自分が疑問に思っていたことを丁寧に教えて頂いた
- ・私は、福島県出身にもかかわらず、原子力発電について知識が乏しかったため、今回の機会は非常に有意義。原子力発電再稼働のメリットについて、「原子力発電を削減、撤退してしまった場合」の視点から考えることができた。しかし、そこで生じた疑問について、時間の関係で質問できなかった。
- ・自然科学のひろがりの授業の中で学んだ事柄についてより詳しく深くまなぶことができた。

(2) 対話の内容は満足いくものでしたか。

- ・とても満足 9名
- ・ある程度満足 8名
- ・やや不満 3

理由

- ・事前質問に答えてもらい、そこから追加説明してもらい、とても良かった。
- ・自分が聞いた質問に対し、自分が思っていることと同じレベルの回答しか返ってこなかった。専門家にしかわからないような答が欲しかった。
- ・これまで知らなかった原子力にまつわる内容を知ることができた。原子力や核融合の分野は難しいという印象があったが、分かりやすい説明だった。
- ・時間が足りなく、いろいろな話を聞くことができなかった。
- ・グループに分かれてからも、相互の意見交換はできなかった。
- ・自分の疑問を聞くことができ満足、もっと時間があるとよかった。
- ・質問しやすい雰囲気だった。良い議論ができた。
- ・時間の制約やオンラインでの議論が難しい面はあったものの、知見を深めることができた。
- ・自分では調べきれないエネルギー問題の現状や今後について疑問を解決できた。
- ・一方的な説明が多かった。
- ・他の人がどんな疑問をもっているか、そしてそれへの専門家の回答を聞くことができ

た。

(3) 事前に聞きたいと思っていたことは聞けましたか

- ・ 十分聞くことができた 15 名
- ・ あまり聞けなかった 6 名
- ・ 全く聞けなかった 0 名

理由

- ・ 事前質問にスライドで答えてもらったので、私の疑問は解消できた。
- ・ 一応質問できた。質問できたのは貴重な経験。
- ・ 対話会で事前質問を補足、しっかり話を聞いた。
- ・ 太陽光の使い方について理解を深めることができた。
- ・ パソコン操作に時間を取られ、あまり聞けなかった。
- ・ 自分は質問できなかったが、他の人が聞いてくれた。
- ・ 当日の話の中で、新たに聞きたいことがあったが、時間の関係もあり、うまく聞けなかった。
- ・ 自分が思う方向性と少し違った。
- ・ 自分が気になっていたことを知ることができた。原発事故が起きた時、すぐに逃げなくてはいけないというイメージがあったが、30Km の範囲では、まずは屋内退避でも大丈夫だということがわかった。
- ・ 学生側から質問する時間を多く取ってくれた。
- ・ なかなか口火を切るのが難しいオンラインという環境の中で、質問しやすい環境を作ってくれた。

(4) 今回の対話会は初めてオンラインで行いましたが、感想をお聞かせ下さい。

- ・ 講師とうまく話ができなかったり、音声が乱れたりしたこともあったが、事前質問に回答を頂いたり、講師がうまく誘導してくれた。
- ・ オンラインでない対話は分からないので比較はできないが、思ったよりやりにくさはなかった。
- ・ 対面形式のように行かないのは、教育大生として模擬授業を経験しているのでよくわかるが、講師の皆さんの熱意はよく感じることができた。
- ・ 対面でないとなかなか会話がスムーズにいかない、できれば対面の方がやりやすいと感じた。
- ・ 機械操作がネックになり、タイムロスが生じた。事前のシュミレーションが大切。
- ・ 学生はオンラインに慣れており、今後対話会をオンラインで開くことは可能。
- ・ 途中で meet が重くなり切断、いくつか聞き逃す点もあった。
- ・ パソコンのトラブルさえなければ、快適に対話会を楽しめる。

- ・自分が発言して良いのか迷い、対話が難しいと感じることがあった。
- ・カメラ常時オンにして討論したので、互いの表情が分かって良かった。積極的に沢山の質問はできなかったが、話が広がり、「自然科学のひろがり」の最終回は、このような討論もよいと思った。
- ・対面で行うより質問しやすかった。事前質問や回答の段取りが踏まれており、良い対話会になっていた。
- ・カメラをつけながら、対話するとネット環境が悪いときに切断してしまう。

(5) 今回の対話で得られたことは何ですか

- ・新しい知見が得られた 20 名
- ・自分の将来の進路の参考になった 0 名
- ・教育、指導の参考になった 9 名
- ・特に新しい知見は得られなかった 1 名
- ・その他 0 名

(6) 「学生とシニアの対話」の必要性についてどのように感じますか

- ・非常にある 11 名
- ・ややある 10 名
- ・あまりない 0 名
- ・全くない 0 名

理由

- ・専門家から知識を得る良い機会。
- ・大学では学べないことを学べる。
- ・シニアとの対話で知見が広がる。
- ・企業側の意見や経験が聞ける。
- ・対話会は初めての経験、離れた世代の価値観や知識は貴重、逆に若い世代から何か与えるものがあれば嬉しい。
- ・知識や伝統の継承は必要と思うが、価値観の押しつけのようなものはどうか。
- ・学生の意見に対し、その場でフィードバックを頂く機会は貴重である。
- ・小学校や中学校でも、このような対話の場を増やしていくべき。
- ・インターネットで調べるより、このような対話会の方が理解しやすい。
- ・講義だと単位を取ることや評価を考えてしまうが、対話会では議題を真剣に考えることができる。

(7) 今後機会があれば再度シニアとの対話に参加したいと思いますか

- ・まだまだ話し足りないので参加したい 5 名

- ・もっと知識を増やしてから参加したい 15 名
- ・十分話ができたらもういい 1 名
- ・二度も必要ないと思うからもういい 0 名

(8) 放射線、放射能に対してどのようなイメージを持っていますか

- ・放射線、放射能はやはり怖い 2 名
- ・一定レベルまでは恐れる必要は無いと以前から知っていた 7 名
- ・一定レベルまでは恐れる必要が無いことを講演、対話から理解できた 12 名

(9) 日本のエネルギー政策では、原子力発電を基幹電力（2030 年に発電電力量の 20～22%）とし、可能な限り削減していくとされています。対話を含めてあなたの認識は次のどれですか。

- ・原子力発電の必要性を強く認識した。削減または撤退すべきでない 11 名
- ・原子力発電の必要性は分かっていたので、対話の前後で認識は変わらなかった 5 名
- ・原子力発電の必要性は分かるが、やはり危ないから、早期に削減または撤退すべきだ 5 名
- ・原子力発電を止め、再生可能エネルギーを最大限使えば良い 1 名

理由

- ・地盤の安全性が心配
- ・原子力発電は、安定性、温室効果ガスの面から良い。福島事故、廃棄物の問題はあがるが、現状では使っていかなざるを得ない。
- ・日本の安定のため必要
- ・今まで、何となく原子力発電に変わる発電方法がないので撤退すべきでないと考えていたが、今回の基調講演や対話から 3E への配慮、福島事故以後安全性が強化されたことを踏まえ、原子力から撤退あるいは削減すべきでないと考えようになった。
- ・対話会で、日本の原子力は、福島事故後大分安全になったことを知った。エネルギー自給率の低い日本にとって原子力は必要であるとは感じている。しかし、2011 年の事故以降、国民が危険だと思っており、そのイメージを変えるのは難しいから、早期に撤退すべきである。

(10) 本企画を通して、全体の感想・意見等があれば、自由に書いて下さい。

- ・原子力に対し、福島の事故があり、負のイメージが強いが、シニアの活動を通じ、正しい知識をえられる良い機会になった。北海道で、最終処分地の検討に名乗りを上げる動きがありますが、具体化すると良いと思う。
- ・今回得た知見を、今後原子力関連のニュース等に当てはめ、情報を客観的に見れるようつなげて行きたい。

・エネルギー問題について、考えてきたつもりだったが、専門家と話すことが出来、理解が深まった。

・本講演と対話会を通し、新たな学びと価値観を得ることができた。情報を知らないことは不安が大きくなる原因と思うので、このような機会に参加できてよかった。知り合いや友人にも話して情報を共有して行きたい。

・エネルギー問題は、数十年、数百年の長いスパンで取り組む必要あると感じた。一部の有識者が決定するものでなく、国民全体が関心を持つことが大事と思う。

・じつは、3月に女川原子力発電所を見学に行く予定だったが、コロナのため中止になり残念。

・対話の中で、原子力の事故と自動車の事故の死亡リスクは原子力の方が低いという話があったが、原子力の事故と交通事故では比較にならないと思った。

・エネルギー問題について、自分の思っていることを伝えたり質問したりする機会は貴重、対話会でも講師の方が質問や意見を言いやすい雰囲気をつくってくれて感謝します。

なお、アンケートの中に、対話会で聞けなかったとして、追加質問がありました。別添で回答します。

以上